

# 経済・金融 フラッシュ

## 中国経済： 5月の経済指標(発表結果)

経済調査部門 上席主任研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

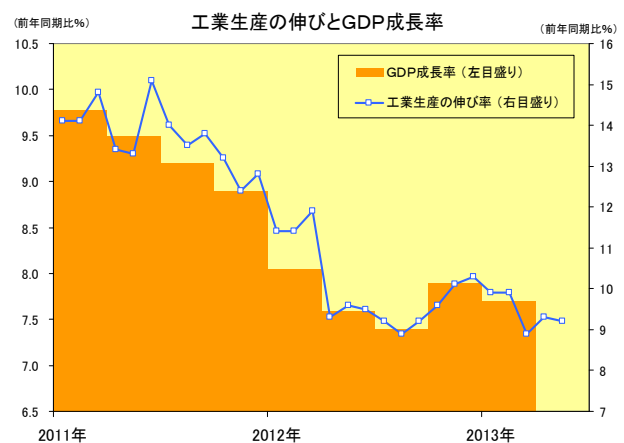
- この土日、中国では、工業生産、貿易統計、小売売上高、固定資産投資、消費者物価など5月の主要経済指標が発表された。
- 工業生産は前年同月比9.2%増と前月より伸びが鈍化、来月発表される4-6月期の実質GDP成長率は、前四半期の前年同期比7.7%増を下回る可能性がやや高まった。また、内需については、投資が徐々に減速する一方、消費は緩やかに回復していることが確認された。
- 消費者物価は前年同月比2.1%上昇と、生鮮野菜の下落を主因に前月の上昇率を下回った。

経済指標		今回の結果		前回	
			対象期		対象期
工業生産(規模以上、付加価値ベース)	(前年同期比)	9.2%	2013年5月	9.3%	2013年4月
小売売上高	(前年同期比)	12.9%	2013年5月	12.8%	2013年4月
固定資産投資(除く農家の投資)	(前年同期比)	20.4%	2013年1-5月期	20.6%	2013年1-4月期
貿易収支	(百万ドル)	20,425	2013年5月	18,161	2013年4月
輸出総額	(前年同期比)	1.0%	2013年5月	14.7%	2013年4月
輸入総額	(前年同期比)	-0.3%	2013年5月	16.8%	2013年4月
消費者物価指数	(前年同期比)	2.1%	2013年5月	2.4%	2013年4月

### ① 工業生産の伸びは0.1ポイント鈍化

9日(日)に中国国家统计局が発表した5月の工業生産(付加価値ベース、規模以上)は前年同月比9.2%増と4月の同9.3%増を0.1ポイント下回った。これで、1-3月期の前年同期比9.5%増を2ヵ月連続で下回る結果となっており、来月15日(月)に発表される4-6月期の実質GDP成長率は、前四半期の前年同期比7.7%増を下回る可能性が高まった(図表-1)。但し、前四半期を下回っても小幅と見られるのに加え、6月に入ってから電力消費量は今までのところ好調に推移していることから、下回るか否かはまだ微妙な状況にある。

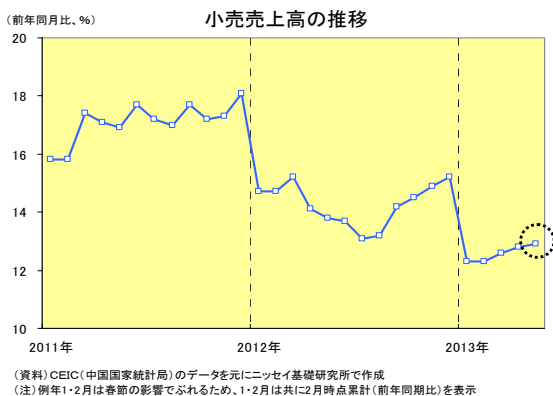
(図表-1)



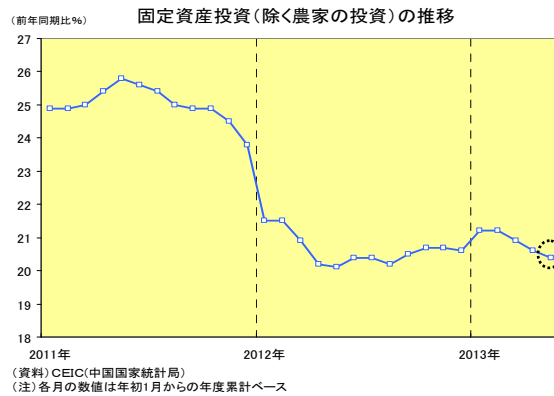
## ② 投資は鈍化も消費は堅調、輸出の判断は保留

また、需要動向を示す輸出・消費・投資の3つの代表指標も発表された。8日（土）に中国税関総署が発表した5月の輸出は前年同月比1.0%増と前月より13.7ポイントの大幅鈍化となった。但し、所謂“水増し”疑惑で中国当局が監視を強化した影響もあり、輸出が鈍化に転じたか否かの判断にはもう1~2ヵ月様子を見る必要があるだろう。また、9日（日）に中国国家统计局が発表した5月の小売売上高は同12.9%増と前月より0.1ポイント上昇（図表-2）、固定資産投資（除く農家の投資）は1-5月期に前年同期比20.4%増と1-4月期より0.2ポイント低下となり（図表-3）、内需については、投資が徐々に減速する一方、消費は緩やかに回復していることが確認された。

（図表-2）



（図表-3）



## ③ 消費者物価上昇率は0.3ポイント低下

9日（日）に中国国家统计局が発表した5月の消費者物価は前年同月比2.1%上昇と4月の同2.4%上昇を0.3ポイント下回り、引き続き今年の抑制目標である3.5%前後を大きく下回った。5月に消費者物価上昇率が鈍化したのは、4月に前年同月比5.9%の上昇となった生鮮野菜が、5月には同1.9%の下落に転じたことが主因である。また、サービス価格が消費品の上昇率を3ヵ月連続で上回り、前月比でも横ばいに留まったことから、賃金インフレ懸念は払拭しきっていない（図表-4、5）。

（図表-4）

	消費者物価(分類別、前年同月比)						消費品(モノ)		サービス
	消費者物価	品目別				消費品(モノ)	サービス		
		食品	うち生鮮野菜	衣類	交通通信			居住	
2012年1月	4.5	10.5	23.0	3.3	0.2	1.9	5.5	2.2	
2012年2月	3.2	6.2	6.5	3.8	0.1	2.1	3.9	1.5	
2012年3月	3.6	7.5	20.5	3.8	0.3	2.0	4.4	1.5	
2012年4月	3.4	7.0	27.8	3.6	0.3	1.8	4.1	1.7	
2012年5月	3.0	6.4	31.2	3.1	▲0.1	1.6	3.6	1.7	
2012年6月	2.2	3.8	12.1	3.3	▲0.4	1.6	2.3	1.9	
2012年7月	1.8	2.4	8.0	3.3	▲0.9	2.1	1.7	2.0	
2012年8月	2.0	3.4	23.8	3.1	▲0.8	2.2	2.1	2.0	
2012年9月	1.9	2.5	11.1	3.4	▲0.2	2.3	1.8	2.3	
2012年10月	1.7	1.8	1.1	2.7	0.1	2.5	1.5	2.3	
2012年11月	2.0	3.0	11.3	2.3	0.0	2.6	1.9	2.3	
2012年12月	2.5	4.2	14.8	1.9	0.0	3.0	2.5	2.5	
2013年1月	2.0	2.9	2.6	2.5	▲0.3	2.9	2.0	2.2	
2013年2月	3.2	6.0	10.0	2.1	0.2	2.8	3.3	3.1	
2013年3月	2.1	2.7	▲0.3	2.3	▲0.3	2.9	1.7	3.1	
2013年4月	2.4	4.0	5.9	2.5	▲1.1	2.9	2.2	2.9	
2013年5月	2.1	3.2	▲1.9	2.5	▲1.2	3.0	1.8	2.8	

（資料）CEIC

（図表-5）

	消費者物価(分類別、前月比)						消費品(モノ)		サービス
	消費者物価	品目別				消費品(モノ)	サービス		
		食品	うち生鮮野菜	衣類	交通通信			居住	
2012年1月	1.5	4.2	26.1	▲1.0	0.4	0.2	1.8	0.8	
2012年2月	▲0.1	▲0.3	▲0.3	▲0.3	0.1	0.4	▲0.1	▲0.2	
2012年3月	0.2	0.2	6.1	0.4	0.2	0.4	0.3	0.0	
2012年4月	▲0.1	▲0.9	▲5.8	0.5	0.4	0.2	▲0.3	0.5	
2012年5月	▲0.3	▲0.8	▲6.9	0.0	▲0.3	0.0	▲0.4	0.1	
2012年6月	▲0.6	▲1.6	▲15.2	0.1	▲0.5	0.0	▲0.9	0.3	
2012年7月	0.1	▲0.1	0.2	▲0.5	▲0.4	0.5	▲1.1	0.6	
2012年8月	0.6	1.5	14.3	▲0.2	0.1	0.4	0.7	0.2	
2012年9月	0.3	0.2	▲5.6	1.1	0.4	0.3	0.4	0.3	
2012年10月	▲0.1	▲0.8	▲12.1	0.9	0.1	0.2	▲0.2	0.2	
2012年11月	0.1	0.4	3.5	1.0	▲0.3	0.2	0.3	▲0.3	
2012年12月	0.8	2.4	17.5	0.0	▲0.2	0.1	1.1	0.0	
2013年1月	1.0	2.8	12.7	▲0.4	0.1	0.2	1.2	0.4	
2013年2月	1.1	2.7	6.9	▲0.7	0.5	0.3	1.2	0.8	
2013年3月	▲0.9	▲2.9	▲13.4	0.6	▲0.3	0.5	▲1.3	0.0	
2013年4月	0.2	0.4	11.2	0.7	▲0.4	0.2	0.2	0.3	
2013年5月	▲0.6	▲1.6	▲13.8	0.1	▲0.4	0.1	▲0.8	0.0	

（資料）CEIC

（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。